

# 家庭、園・学校が ともに育ち合うための手引き

生活習慣・学習習慣・食育研究部会がまとめた「家庭、園・学校がともに育ち合うための手引き」から、小学校2年生（8歳）の部分を紹介しつゝ、家庭教育の参考にしてください。

## 目指す子どもの姿と働きかけ 小学校2年生（8歳）

### 生活習慣 基本的な生活習慣や集団でのルールやマナーを身に付けている児童

あいさつや返事、ありがとう、ごめんなさいなど適宜使う。  
家庭・学校のきまりを守って行動する。  
物や道具を大切に使う。  
自分の持ち物などの整理ができ、前もって準備をする。



### 学習習慣 興味をもって授業に参加する児童



人の話を最後まで聞く。  
文字を正確に書く。  
自分で翌日の用具を準備する。  
読書をする。

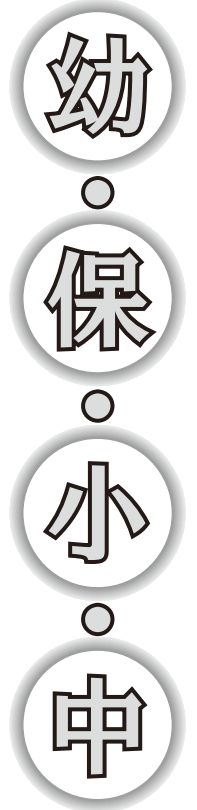
### 食育 食事のマナーに気を付け、食材に興味・関心をもって食事をする児童

食事が終わるまで席について食べる。  
ごはんとおかずを交互に食べる。  
はしを正しく持って食べる。  
適量を知り、残さないで食べる。



＝全国へ発信＝

一貫教育プロジェクト



## 家庭からの働きかけ

子どもと一緒に保護者自身が積極的にあいさつをする。  
集団生活では、ルールが必要であることを知らせる。  
物や道具には、作った人の気持ちが込められているということを知らせ、親が物を大切に使う姿を見せる。  
整理しやすいように環境を整え、前もって準備することで、いかに時間に余裕ができるかを知らせる。

相手の顔を見て話を聞くようにさせる。  
ノートを見てアドバイスをする。  
準備ができているか点検する。  
家族で読書の時間をもつ。



家族と一緒に会食し、マナーの手本を示し、根気よくしつけをする。

いろいろな食品を献立に取り入れ、味覚の発達や、食べられる食品を増やしていく。

主食とおかずをそろえた食事を用意する。

毎食野菜料理を作る。



## 学校からの働きかけ

先生から生徒へ、また先生同士のあいさつをしっかりと行い、自ら手本となる行動を取る。

学校のきまりなどを保護者にも周知し、家庭での協力を促す。

教科書や文具を大切に使うことを指導する。

前もって準備することは、時間に余裕ができ、忘れ物をしないようになることを知らせる。

相手の顔を見て話を聞くようにさせる。

文字を正しくていねいに書くよう指導する。

連絡帳を点検し、きちんと書かせる。

読書タイムの充実を図る。



仲間と一緒に食べることを楽しむ雰囲気をつくる。  
一緒に食べる人への配慮をさせる。

ごはんとおかずを交互に食べるよう指導する。  
献立に応じて箸やスプーンが使えるよう指導する。

1食の適量を知らせる。

野菜の栽培、収穫、調理を通して食への興味関心を高める。

食べ物自然の中で生育したものであることを知り、食べ物への感謝の気持ちを育てる。